

<b>科目名</b> 多職種連携	<b>授業担当者</b> 渡部 暢子 大塚 紀子 齊藤 豊子	<b>所属</b> 中通高等看護学院 中通高等看護学院 中通高等看護学院	
<b>開講時期</b> :前期	<b>単位数</b> :1 単位	<b>時間数</b> :15 時間	
<b>授業の目的</b> 地域包括ケア・地域共生社会の実現のために、多様な場で暮らす、さまざまなライフステージ・健康レベルにある対象の健康や生活を守る保健・医療・福祉の提供に向けて、お互いの職種の特徴を活かしながら、対象の目標達成、課題解決に向けて、よりよい方法をともに検討し実現をめざす基礎的能力を養う。			
<b>授業の概要</b> 看護師の役割、チームアプローチについては1・2年次の講義で基礎的知識は学んでいる。臨地実習では、多職種カンファレンスを見学する場面もある。本科目では、複数の職種の学生と共通の事例に取り組み、「専門職連携の実際」を体験し学ぶ機会とする。多職種の学生と一つのチームになり、対象の目標達成、課題解決に向けてよりよい方法を討議することで、役割の違いや連携の意義と協働にむけて方向性を理解できる力を養って欲しい。			
<b>受講上の注意・事前学習の内容</b> 以下の6つの目標のもと、理学療法士、栄養士を目指す学生と2回にわたり協同学習を行う。グループで1つの事例について取り組むが各自が主体的に看護の専門性について考え臨んでほしい。 <b>目標</b> 1. 多職種の役割と責務について、多職種と共有する 2. 多職種間のコミュニケーション能力を身につける 3. 対象者志向の倫理観をもつ 4. 多職種間で対象者の目標を共有する 5. 対象者の目的達成、ケアの質向上に向けてともに考える 6. 多職種協働・連携に向けての展望をともに語る			
<b>授業回数</b>	<b>学習内容</b>	<b>方法</b>	<b>備考</b>
1	・多職種連携とは ・関連職種連携ツールとしてのICF ・多職種の役割機能理解	講義	渡部暢子
2・3	・専門職連携学習の準備:看護師の役割、事例提示 看護計画、倫理的態度	講義	渡部暢子
4	協同学習:専門職連携学習の実際「多職種の役割理解、相互理解・尊重」	学外演習	渡部暢子 大塚 紀子 齊藤 豊子
5	・専門職連携の実際の準備:看護計画、カンファレンス内容	講義	渡部暢子
6	協同学習:専門職連携学習の実際「対象の目標共有」	学外演習	渡部暢子 大塚 紀子 齊藤 豊子
7	・専門職連携学習の成果 リフレクション	講義	渡部暢子
8	試験		
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 専門 看護学概論 医学書院			
<b>参考書・指定図書</b> メディッコ著 現場から学ぼう! 看護師のための多職種連携攻略本 株式会社シービーアール			
<b>評価の方法</b> 筆記試験および課題・参加態度により総合的に評価する。			

\*この科目は実務経験のある教員による科目となります